

		患者：MedicationAdministrationInstructions.code (CD) 薬局：MedicationSupplyInstructions.code (CD)
RPSETSIJ_9	指示コメント	患者：MedicationAdministrationInstructions.text 薬局：MedicationSupplyInstructions.text

## 1.2 RegistryControlAct へのマッピング

項目番号	項目名	マッピング
YAKUHIN_91	作成医師	AssignedPerson.id ControlActProcess に Participation で関連する CMET:R_AssignedPerson.AssignedPerson の id 属性として表現。
YAKUHIN_63	タイムスタンプ	dataEnterer.time(IVL<TS>)

## 1.3 削除項目

項目番号	項目名	マッピング
RPSETCTL_5	表示順	



厚生労働科学研究費補助金（医療技術評価総合研究事業）  
分担研究報告書

電子カルテの相互運用に必要なメッセージの開発

資料5 セット処方メッセージインターフェース仕様書

## 1. 処方オーダーメッセージ用インターフェース

処方オーダーメッセージのインターフェース定義の詳細を示す。インターフェース定義において、「HL7 必須属性」「HL7 必須関連」は、この値が存在しない(null)場合、メッセージ生成時に例外(Nori.HL7.Version3.Exceptions.MessageException)が発生することを示す。また、インターフェースの中には、メッセージ作成時には使用されず、メッセージから値を取得する際にのみ使用されるものがある。そのようなインターフェースには、「メッセージ作成時には実装不要」と明記している。これらのインターフェースは、戻り値が参照型の場合 null を返すように、値型の場合は引数無しのコンストラクタで生成される値を返すように実装する。参考として HL7V3 メッセージへのマッピングの詳細を示すが、インターフェースを使用する限り、マッピングの詳細を意識する必要はない。

## 1.1. セット処方使用可能医師情報

セット処方使用可能医師情報。

### 1.1.1. セット処方使用可能医師 ID

#### ■定義

セット処方使用可能医師を一意に識別する ID。医師 ID と、病院情報システムのユーザ ID の 2 種類の ID を使用可能。

#### ■現行対応項目:

- 医師コード (RPSETCTL\_7)

#### ■インターフェース

**string IPhysician.Id [get;]** (HL7 必須属性)

セット処方使用可能医師 ID(Extension)を取得する。セット処方使用可能医師 ID(Extension)を持たない場合には null を返す。

**string IPhysician.RootUid [get;]** (HL7 必須属性)

セット処方使用可能医師 ID(RootUID)を取得する。セット処方使用可能医師 ID(RootUID)を持たない場合には null を返す。

**string IPhysician.IdIssuingAuthorityName [get;]**

セット処方使用可能医師 ID の ID 発行機関名称を取得する。ID 発行機関名称を持たない場合には null を返す。

**string IPhysician.UserId [get;]** (HL7 必須属性)

セット処方使用可能医師の病院情報システムユーザ ID(Extension)を取得する。ユーザ ID(Extension)を持たない場合には null を返す。

**string IPhysician.UserRootUid [get;]** (HL7 必須属性)

セット処方使用可能医師の病院情報システムユーザ ID(RootUID)を取得する。ユーザ ID(RootUID)を持たない場合には null を返す。

**string IPhysician.UserIdIssuingAuthorityName [get;]**

セット処方使用可能医師の病院情報システムユーザの ID 発行機関名称を取得する。ID 発行機関名称を持たない場合には null を返す。

### 1.1.2. セット処方使用可能医師氏名

#### ■定義

セット処方使用可能医師氏名。漢字氏名とカナ氏名を姓、名に分けて表現する。

#### ■現行対応項目:

- なし

#### ■インターフェース

**string IPhysician.WholeName [get;]** (メッセージ作成時実装不要)

セット処方使用可能医師の姓名(漢字)を取得する。値がない場合は null を返す。

**string IPhysician.WholeNameInKana [get;]** (メッセージ作成時実装不要)

セット処方使用可能医師の姓名(カナ)を取得する。値がない場合は null を返す。

**string IPhysician.FamilyName [get;]**

セット処方使用可能医師の姓(漢字)を取得する。値がない場合は null を返す。

**string IPhysician.FamilyNameInKana [get;]**

セット処方使用可能医師の姓(カナ)を取得する。値がない場合は null を返す。

**string IPhysician.GivenName [get;]**

セット処方使用可能医師の名(漢字)を取得する。値がない場合は null を返す。

**string IPhysician.GivenNameInKana [get;]**

セット処方使用可能医師の名(カナ)を取得する。値がない場合は null を返す。

## 1.2. セット処方使用可能診療科情報

### セット処方使用可能診療科情報

#### 1.2.1. 診療科 ID

##### ■定義

セット処方を使用することができる診療科。

##### ■現行対応項目:

- 科コード (RPSETCTL\_3、RPSETYAK\_3、RPSETYOH\_3、RPSETSIJ\_3)

##### ■インターフェース

**string IDepartment.Id [get;]**

セット処方使用可能診療科 ID(Extension)を取得する。ID(Extension)を持たない場合には null を返す。DepartmentId と DepartmentRootUId の両方ともが null か、あるいは両方とも非 null 値でなければならない。

**string IDepartment.RootUId [get;]**

セット処方使用可能診療科 ID(RootUID)を取得する。ID(RootUID)を持たない場合には null を返す。DepartmentId と DepartmentRootUId の両方ともが null か、あるいは両方とも非 null 値でなければならない。

**string IDepartment.IdIssuingAuthorityName [get;]**

セット処方使用可能診療科 ID の ID 発行機関名称を取得する。ID 発行機関名称を持たない場合には null を返す。

#### 1.2.2. 診療科名

##### ■定義

診療科名称。

##### ■現行対応項目:

- なし

■インターフェイス

**string IDepartment.Name [get;]**

セット処方使用可能診療科の名称を取得する。名称を持たない場合には null を返す。



### 1.3. セット処方情報

セット処方全体に関する情報を表現する。

#### 1.3.1. セット処方番号

##### ■定義

セット処方を一意に識別するための番号。

##### ■現行対応項目:

- セット処方番号 (RPSETCTL\_4、RPSETYAK\_4、RPSETYOH\_4、RPSETSIJ\_4)

##### ■インターフェース

**string IPrescriptionTemplate.Id [get;]** (HL7 必須属性)

セット処方番号(Extension)を取得する。セット処方番号(Extension)を持たない場合には null を返す。

**string IPrescriptionTemplate.RootUid [get;]** (HL7 必須属性)

セット処方番号(RootUID)を取得する。セット処方番号(RootUID)を持たない場合には null を返す。

**string IPrescriptionTemplate.IdIssuingAuthorityName [get;]**

セット処方番号の ID 発行機関名称を取得する。セット処方番号発行機関名称を持たない場合には null を返す。

#### 1.3.2. セット処方状態区分

##### ■定義

セット処方の状態を示す。

セット処方の新規追加、更新 : active

セット処方の削除 : nullified

##### ■現行対応項目:

- なし

#### ■インターフェース

**object IPrescriptionTemplate.Status [get;]** (HL7 必須属性)

セット処方の状態コードを取得する。対応するボキャブラリドメインは  
Nori.HL7.Version3.VocabularyDomain.ActStatus  
で、実際の型は CS 型である。

### 1.3.3. セット処方名

#### ■定義

セット処方の名前。

#### ■現行対応項目:

- セット名称 (RPSETCTL\_6、RPSETYAK\_6、RPSETYOH\_6、RPSETSJIJ\_6)

#### ■インターフェース

**string IPrescriptionTemplate.Name [get;]**

セット処方の名前を取得する。値がない場合には null を返す。

### 1.3.4. セット処方テキスト

#### ■定義

セット処方のテキスト表現。人が見て理解するために提供される。

#### ■現行対応項目:

- なし

#### ■インターフェース

**string IPrescriptionTemplate.Text [get;]**

セット処方のテキスト表現を取得する。値がない場合には null を返す。

### 1.3.5. 調剤指示コメント

#### ■定義

セット処方全体の調剤(薬局向け)に対するフリーテキストによる指示コメント。

#### ■現行対応項目:

- 指示コメント（指示種別が薬局）（RPSETSIJ\_9）

#### ■ インターフェース

**string IPrescriptionTemplate.SupplyInstruction [get;]**

セット処方全体の調剤に対する指示コメント。

### 1.3.6. 投薬・服用指示コメント

#### ■ 定義

セット処方全体の投薬・服用(患者向け)に対するフリーテキストによる指示コメント。

#### ■ 現行対応項目:

- 指示コメント（指示種別が患者）（RPSETSIJ\_9）

#### ■ インターフェース

**string IPrescriptionTemplate.AdministrationInstruction [get;]**

セット処方全体の投薬・服用に対する指示コメント。

### 1.3.7. セット処方使用可能医師情報

#### ■ 定義

セット処方使用可能医師情報。詳細は、〇〇〇節セット処方使用可能医師情報参照。

#### ■ 現行対応項目:

- 〇〇〇節参照。

#### ■ インターフェース

**bool IPrescriptionTemplate.IsAvailableByPhysician [get;]**

セット処方利用可能医師の有無を示す bool 値を取得する。

**IPhysician IPrescriptionTemplate.Physician [get;]**

セット処方利用可能医師情報を、医師インターフェース IPhysician として取得する。詳細は〇〇〇節セット処方利用可能医師情報参照。

### 1.3.8. セット処方使用可能診療科情報

#### ■定義

セット処方を使用できる診療科情報。詳細は、〇〇〇節診察情報参照。

#### ■現行対応項目:

- 〇〇〇節参照。

#### ■ インターフェース

**bool IPrescriptionTemplate.IsAvailableInDepartment [get;]**

セット処方利用可能の診療科の有無を示す bool 値を取得する。

**IEncounter IPrescriptionTemplate.Department [get;]**

セット処方使用可能診療科情報を、入力者インターフェース IDepartment として取得する。詳細は〇〇〇節セット処方使用可能診療科情報参照。

### 1.3.9. セット処方 Rp 情報

#### ■定義

セット処方に含まれるひとつの Rp の情報。詳細は、〇〇〇節のセット処方 Rp 情報参照。

#### ■現行対応項目:

- なし

#### ■インターフェース

**int IPrescriptionTemplate.Count [get;]**

セット処方に含まれる Rp 数を取得する。

**IPrescriptionTemplateItemGroup IPrescriptionTemplate.ItemGroupAt (int i)**

セット処方に含まれる、i 番目の Rp 情報を、IPrescriptionTemplateItemGroup インターフェースとして取得する。対応する Rp が存在しない場合には null を返す。

## 1.4. セット処方 Rp 情報

セット処方の 1Rp 情報を表す。現行システムの考え方では、処方箋のひとつの Rp には、複数の薬剤とその薬剤に共通する 1つの用法が含まれる。これは、薬剤の処方量が用法ではなく、薬剤の情報に含まれるため、ひとつの Rp 内で用法は共通となるからである。しかし、HL7 のモデルで表現すると、薬剤の投与量は薬剤ではなく用法として表現されるため、ひとつの Rp 内でも用法は薬剤毎に異なり、薬剤と用法は 1対1 の関係となる。Rp はこの薬剤と用法、そして薬剤情報に関連する薬剤払い出し情報の組（ここでは処方項目と呼ぶ）のコレクションとして表現される。

### 1.4.1. セット処方 Rp テキスト

#### ■定義

セット処方の 1Rp のテキスト表現。人が見て理解するために提供される。

#### ■現行対応項目:

- なし

#### ■インターフェース

```
string IPrescriptionTemplateItemGroup.Text [get;]
```

セット処方の 1Rp のテキスト表現を取得する。値がない場合には null を返す。

### 1.4.2. セット処方 Rp 内処方項目情報

#### ■定義

セット処方 1Rp に含まれるひとつの処方項目情報。詳細は、〇〇〇節の処方箋 Rp 内項目情報参照。

#### ■現行対応項目:

- なし

#### ■インターフェース

```
int IPrescriptionTemplateItemGroup.Count [get;]
```

セット処方 1Rp に含まれる処方項目数を取得する。

**IPrescriptionTemplateItem IPrescriptionTemplateItemGroup.ItemAt(int  
i)**

セット処方 1Rp に含まれる、i 番目の処方項目情報を、IPrescriptionTemplateItem インターフェイスとして取得する。対応する処方項目が存在しない場合には null を返す。

## 1.5. セット処方 Rp 内処方項目情報

セット処方の 1Rp 内の項目を表す。現行システムの考え方では、処方箋のひとつの Rp には、複数の薬剤とその薬剤に共通する 1つの用法が含まれる。これは、薬剤の処方量が用法ではなく、薬剤の情報に含まれるため、ひとつの Rp 内で用法は共通となるからである。しかし、HL7 のモデルで表現すると、薬剤の投与量は薬剤ではなく用法として表現されるため、ひとつの Rp 内でも用法は薬剤毎に異なり、薬剤と用法は 1対1の関係となる。処方項目はこの薬剤と用法、そして薬剤情報に関連する薬剤払い出し情報の組として表現される。

### 1.5.1. 処方項目識別情報

#### ■定義

セット処方内の 1Rp 内の 1 処方項目を一意に識別するための ID。現行では、「剤内シーケンス」によって識別されるが、HL7 メッセージで表現する場合、SubstanceAdministration Act を一意に識別するための id が必要となる。

#### ■現行対応項目:

- 剤内シーケンス (RPSETYAK\_6)

#### ■インターフェース

```
int IPrescriptionTemplateItem.SequenceNumber {get;}
```

セット処方 Rp に含まれる処方項目の剤内シーケンス番号を取得する。

### 1.5.2. 薬剤情報

#### ■定義

処方項目に含まれる 1 薬剤の情報。詳細は、〇〇〇節薬剤情報参照。

#### ■現行対応項目:

- 〇〇〇節参照。

#### ■インターフェース

```
IMedicationDrug IPrescriptionTemplateItem.Drug {get;}
```

処方項目に含まれる 1 薬剤の情報を、IMedicationDrug インターフェースとして取得す

る。詳細は〇〇〇節薬剤情報参照。

### 1.5.3. 薬剤払い出し情報

#### ■定義

処方項目に含まれる薬剤払い出し情報。詳細は、〇〇〇節薬剤払い出し情報参照。

#### ■現行対応項目:

- 〇〇〇節参照。

#### ■インターフェース

**IMedicationSupply IPrescriptionTemplateItem.Supply [get;]**

処方項目に含まれる薬剤の払い出し情報を、IMedicationSupply インターフェースとして取得する。詳細は〇〇〇節薬剤払い出し情報参照。

### 1.5.4. 用法情報

#### ■定義

処方項目に含まれる用法情報。詳細は、〇〇〇節用法情報参照。

#### ■現行対応項目:

- 〇〇〇節参照。

#### ■インターフェース

**IMedicationAdministration IPrescriptionTemplateItem.Administration [get;]**

処方項目に含まれる用法情報を、IMedicationAdministration インターフェースとして取得する。詳細は〇〇〇節用法情報参照。



## 1.6. 薬剤情報

処方項目に含まれる、薬剤に関する情報。

### 1.6.1. 薬品名称

#### ■定義

薬品の名称(商品名)。

#### ■現行対応項目:

- なし

#### ■インターフェース

```
string IMedicationDrug.CommercialName [get;]
```

薬品の商品名を取得する。値がない場合には null を返す。

### 1.6.2. 薬品コード

#### ■定義

薬品コード。

ValueSet: Kobe.Pharmacy.ClinicalDrugCode  
を使用する。CE 型。

#### ■現行対応項目:

- 薬品コード (RPSETYAK\_7)

#### ■インターフェース

```
object IMedicationDrug.Code [get;]
```

薬品コードを object として取得する。ValueSet: Kobe.Pharmacy.ClinicalDrugCode  
で定義されたコード値で、実際の型は CE 型である。

コードの文字列表現を得たい場合には、

```
string ClinicalDrugCode.Singleton.ToString(object);
```

を使用する。

コードの表示用文字列を得たい場合には、

```
string ClinicalDrugCode.Singleton.DisplayNameOf(object);
```

を使用する。

特定のコードとの等価性を調べる場合には、

```
bool ClinicalDrugCode.Singleton.<Get property for a specific code>.Equals(object);
```

を使用する。

### 1.6.3. 単位情報

#### ■定義

薬品の単位コードを取得する。薬価単位と力価単位の 2 種類あり、薬価単位は、薬価計算で使用される単位で、注射以外の薬剤のオーダー時に使用する。力価単位は、力価を明示するとき使用される単位で、注射オーダーは力価単位を使用する。

ValueSet: Kobe.Pharmacy.UnifiedCodeForUnitOfMeasuer  
を使用する。CS 型。

#### ■現行対応項目:

- 単位区分 (RPSETYAK\_9)
- 単位コード (RPSETYAK\_10)

#### ■インターフェース

```
object IMedicationDrug.UnitCodeForDrugPrice [get;]
```

薬品の薬価単位コードを object として取得する。

ValueSet: Kobe.Pharmacy.UnifiedCodeForUnitOfMeasure で定義されたコード値で、実際の型は CS 型である。

コードの文字列表現を得たい場合には、

```
string UnifiedCodeForUnitOfMeasure.Singleton.ToString(object);
```

を使用する。

コードの表示用文字列を得たい場合には、

```
string
```

```
UnifiedCodeForUnitOfMeasure.Singleton.DisplayNameOf(object);
```

を使用する。

特定のコードとの等価性を調べる場合には、

```
bool UnifiedCodeForUnitOfMeasure.Singleton.<Get property for a specific code>.Equals(object);
```

を使用する。

**object IMedicationDrug.UnitCodeForStrength [get;]**

薬品の方価単位コードを object として取得する。

**ValueSet:** `Kobe.Pharmacy.UnifiedCodeForUnitOfMeasure` で定義されたコード値で、実際の型は CS 型である。

## 1.7. 薬剤払い出し情報

薬剤の払い出し情報。薬局に対する指示を含む。

### 1.7.1. 払い出し総量

#### ■定義

薬剤の払い出し総量。単位は、`IMedicationDrug.UnitCodeForDrugPrice` で指定される単位を使用する。(→正しいか？明示的に単位も設定できるようにすべきか？) 必須属性で省略できないため、明示的に `Null` インスタンスを指定したい場合には `double.NaN` を使う。  
(HL7 必須属性)

#### ■現行対応項目:

- 処方数量(全量) (RPSETYAK\_8)。

#### ■インターフェース

**`double IMedicationSupply.TotalDrugQuantity [get;]`**

薬品の払い出し総量を取得する。値がない場合には `new double()` を返す。明示的に `Null` 値を指定する場合には `double.NaN` を返す。

### 1.7.2. 払い出し指示コメント

#### ■定義

処方箋内のある特定の薬剤の払い出しに対する薬局向けコメント。

#### ■現行対応項目:

- 指示種別 (RPSETSIJ\_8) (薬局)
- 指示コメント (RPSETSIJ\_9)

#### ■インターフェース

**`string IMedicationSupply.Instruction [get;]`**

特定の薬剤のための薬局向け指示コメントを取得する。値がない場合には `null` を返す。

### 1.7.3. 粉砕指示